

製品名: トルシン A (2F5) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19137**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, FC 1:50-1:200
分子量	38kDa

抗原情報

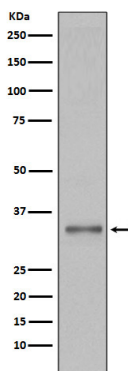
遺伝子名	TOR1A
別名	TOR1A; DQ2; DYT1; TorsinA;
遺伝子 ID	1861.0
SwissProt ID	O14656
免疫原	ヒト Torsin A/DYT1 の合成ペプチド

背景

神経疾患であるジストニアは、持続的な筋収縮と異常な姿勢を伴います。トルシン A、トルシン B、トルシン 2A、トルシン 3A は、細胞活動に関連する ATPase ファミリー (AAA+) に属し、トルシン A の変異は早期発症のジストニアを引き起こします。トルシン A は、C.エレガンスにおいて細胞内タンパク質凝集を抑制すること、およびシャペロン活性を有することが示されています。興味深いことに、トルシン A はドーパミン作動性ニューロンで高度に発現し、パーキンソン病の病理学的特徴であるレビー小体において α -シヌクレインと関連しています。シャペロン機能を持つタンパク質は、タンパク質の折り畳み、処理、安定性、局在の制御、および誤って折り畳まれたタンパク質凝集体の減少に重要です。シナプス小胞のリサイクルの調節に関与し、COP9 シグナロソーム複合体 (CSN) と共同して STON2 タンパク質の安定性を制御します。核内では細胞骨格と核膜を繋ぐ役割を担い、このメカニズムは核極性、細胞運動、そして特にニューロンにおいては核膜の完全性の制御に極めて重要であると考えられる。細胞輸送に関与し、ドーパミントランスポーター SLC6A3 などの多回膜タンパク質の細胞内局在を制御し、ドーパミン神経伝達の調節に関与すると考えられる。小胞体では、SGCE バリエントなどのミスフォールドタンパク質の除去を促進したり、適切なリフォールディングのために中間状態に保持したりすることで、タンパク質フォールディングの品質管理に関与する。神経組織以外では、TOR1B と重複した機能を持つ可能性がある。

研究分野

画像データ



293T 細胞溶解物中の Torsin A 発現のウェスタン プロット分析。